

Monthly Times (H28.2月号)

☆創造・自律・共生☆

★有田中央高等学校★



○地域の清掃活動に参加



地域の清掃活動に生徒有志が参加しました。地域の一員としての自覚がより深まりました。

【クリーン有田川運動】と【ポッポ道清掃】

6日(土)、町の恒例行事「クリーン有田川運動」と地域協育会の「さわやかな街づくり」部会が呼びかけて、「ポッポみち」の清掃に約85人の生徒有志と18人の本校職員が参加しました。約2時間ほど地域の方々とともに「空き缶」や「ペットボトル」などのゴミを回収し、ごみは10袋分にもなりました。共に汗を流すなか、自然と会話も弾み、生徒と地域の方々とのコミュニケーションも深まったようです。その後、学校で生徒と先生が作った美味しい「豚汁」に舌鼓を打ち、清掃活動について振り返りました。

○2年生 「生き方在り方ゼミ」で地域の方々に学ぶ



働くことや、地域社会への参画への意欲・意識を高めて欲しいものです。

16日(火)、2年生の「セルフディスカバリー」の授業で、恒例の「生き方在り方ゼミ」を実施しました。地域で活躍されている社会人の方々に講師としてお招きし、1グループ4～6名の生徒と、語り合ってくださいました。今回は26名の講師の方に「仕事への思い」や「自らの生き方」等について話していただきました。講師のお話はいずれも体験に基づいた説得力のあるものばかりで、会話が弾むグループが多くありました。嬉しいことに、生徒の態度やコミュニケーション力は、年々良くなっていると、おほめの言葉をいただきました。しかし、講師の方々から今後の課題として以下の点についてご意見いただきました。・自分から積極的に質問できる前向きな姿勢がほしい。・自分の気持ちを言葉にして発言すること・他にも社会人との接触を多く取り入れること・他人への自己アピール力をつけること これを機に、2年生には、自分自身の生き方・在り方について見つめ直し、



○3年生 学習成果について熱く発表



16日(火)、体育館で3年生の系列・コースの代表が、1, 2年生に向けて、系列での学習成果について発表を行いました。2年前から実施していますが、3年生には、発表を通じて、系列の学びに達成感を感じてもらおうとともに、総仕上げとして自分を振り返ること、1, 2年生には今後の学習に見通しを持ち、前向きに意欲を高めてもらうこと、しっかり先輩の発表を聞く事が発表会の大きな目的です。

3年生は、それぞれの系列の代表者が緊張しながらも、立派に発表を行いました。それぞれの系列の特色が出た発表で内容も盛りだくさんでありました。色々な課題に向き合い、失敗してもあきらめず、最後まで挑戦し続けることの大切さが1, 2年生にも伝わったような気がします。なかには、緊張から早口になってしまったりした人もいました大勢の人の前で発表できたことに自信をもって今後の生活に活かしていってほしいと思います。系列での学びが今後ますます充実したものになることを期待します。

○吹奏楽部引っ張いだこでフル回転!



吹奏楽部は現在6名の小所帯ですが、各自がそれぞれのパートでがんばっています。今年度も色々な団体から演奏の要請があり2月の終わりまで27回の演奏の機会がありました。13日(土)、有田市の「オレンジコンサート」に湯浅中学校と合同で出演しました。演奏曲は有田のわらべ歌「ささやき」を本校音楽科の宮田先生が独唱し、続いて美空ひばりメドレーを演奏しました。14日(日)、金屋文化保健センターの「第17回有田憲法フェスタ」へ出演し、アニメ数



曲(にんげんっていいな・ひこうき雲・ルパン・コナン)とヤングマン・ふるさと・赤いスイートピー等を演奏しました。20日(土)、下津町「デイサービスひだまり」のイベントに出演し、ちょんまげパラダイス・青い山脈・石原裕次郎メドレー・日本愛唱歌集等を演奏しました。それぞれの会場を盛り上げ好評を博しました。来る、3月26日(土)、町の歓迎イベント(ナイナイお見合い大作戦の収録)に出演依頼がきています。3年生が卒業してさみしくなりますが、様々な演奏の機会をえてますます地域に貢献できることは本当に嬉しい限りです。

【福祉系列】

【デイサービス】

2月4日(木)・18(木)・25(木) 13:30~15:00 2年系列生15名が有田川町社会福祉協議会の「生きがいデイサービス」に参加しました。学校で学んだフラワーアレンジメントを生徒が主体となって、利用者の方々に教えました。「あんたのお陰できれいなアレンジメントができたよ」と利用者の方に言っていただき、照れくさそうに「ありがとうございます」と言っている生徒が印象に残っています。この交流は毎年行っており、この日を心待ちにしているという利用者の方もいらっしゃいました。生徒たちは終始笑顔で、積極的にいきいきとコミュニケーションを図っていました。



